

令和6年度実施 横浜市公立学校教員採用候補者選考試験
特別選考③(大学推薦特別選考) 推薦要領

1 趣旨

この要領は、令和6年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験特別選考③(大学推薦特別選考)(以下、「特別選考③」という。)の実施において、候補者を大学(大学院)及び教職大学院が推薦するために、必要な事項を定めるものとする。

2 選考の対象となる受験区分

- (1) 小学校
- (2) 中学校・高等学校(国語)
- (3) 中学校・高等学校(数学)
- (4) 中学校・高等学校(理科)
- (5) 中学校・高等学校(美術)
- (6) 中学校・高等学校(技術)
- (7) 中学校・高等学校(家庭)
- (8) 中学校・高等学校(英語)
- (9) 特別支援学校

3 対象大学

令和3年4月1日から令和6年4月1日において、小学校教諭、中学校教諭(国語、数学、理科、美術、技術、家庭又は英語)又は特別支援学校の、一種若しくは専修免許状取得の課程認定を受けている大学(大学院)又は教職大学院のうち、横浜市教育委員会が定めるもの。

4 推薦条件

次の(1)から(6)までの全ての要件を満たす者(中学校・高等学校(英語)で受験する者については、(1)から(7)までの全ての要件を満たす者)で、横浜市公立学校教員を第一志望とし、教師として優れた実践力を発揮することが期待でき、学長が推薦する者。

- (1) 「3 対象大学」で定める大学(大学院)又は教職大学院に令和6年4月1日時点で在籍し、令和7年3月31日までに卒業又は修了する見込みの者
- (2) 小学校教諭、中学校教諭(国語、数学、理科、美術、技術、家庭又は英語)又は特別支援学校教諭の、一種若しくは専修免許状を有する者又は令和7年3月31日までに確実に取得できる見込みの者
※特別支援学校区分受験者については、特別支援学校教諭一種若しくは専修免許状に加え、小学校教諭又は中学校教諭(国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭又は英語のいずれかに限る。)の普通免許状を有する者(取得見込みの者を含む。小学校教諭又は中学校教諭の免許状について専修、一種、二種の別は問わない。)
- (3) 昭和39年4月2日以降に出生した者
- (4) 横浜市教育委員会が求める教師像にふさわしい資質・能力を有する者
- (5) 学業成績が優良で、令和6年4月1日時点の学業成績が次の基準のいずれかを満たす者
ア 累計GPAが、満点の70%以上
イ 「優(80~100点)」相当以上の取得単位数が、総取得単位数の50%以上
ただし、単位認定のみを行う等の理由で評点がない取得単位については、取得単位数及び総取得単位数に含まない。
- (6) 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格事項に該当しない者
- (7) 次のアからウのいずれかの級・スコアを有する者で、学長が推薦に足ると判断した者。アについては令和6年5月13日までに取得したもの、イ及びウについては、令和4年4月1日から令和6年5月13日までに取得したものを対象とする。
ア 実用英語技能検定準1級
イ TOEIC L&R (IP除く) 800点以上
ウ TOEFL iBT 80点以上

5 推薦の人数

(1) 小学校

各大学（大学院）における推薦人数は、令和5年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の小学校区分における、特別選考③の最終合格実績等に応じて、大学ごとに定める。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から人数の上限を設けず推薦することができる。

なお、小学校の課程認定を受けている大学は、中学校教諭普通免許状（英語）取得者（取得見込みを含む）、高等学校教諭普通免許状（英語）取得者（取得見込みを含む）又は次のアからケのいずれかの級・スコアを有する者について、大学ごとに定める小学校区分の推薦人数とは別に1名を推薦することができる。

ただし、アについては令和6年5月13日までに取得したもの、イからケについては令和4年4月1日から令和6年5月13日までに取得したものに限る。

○英語に係る免許状、資格・級・スコアによる追加推薦枠 1名	
必要とする資格・級・スコア	追加推薦枠
中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）※	
ア 実用英語技能検定準1級	カ GTEC 1190点以上
イ TOEIC L&R (IP除く) 785点以上	キ IELTS 5.5点以上
ウ TOEIC S&W (IP除く) 310点以上	ク TEAP 309点以上
エ TOEFL iBT 72点以上	ケ TEAP CBT 600点以上
オ ケンブリッジ英語検定 160点以上	
1名	
※中学校教諭普通免許状（英語）又は高等学校教諭普通免許状（英語）について、専修、一種、二種の別は問わない。	

(2) 中学校・高等学校（国語、数学、理科及び英語）

各大学（大学院）における推薦人数は、令和5年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の中学校・高等学校区分（国語、数学、理科及び英語）における、令和5年度卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、大学ごとに定める。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から各教科1名を推薦することができる。

(3) 中学校・高等学校（美術、技術及び家庭）

各大学（大学院）における推薦人数は、令和5年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の中学校・高等学校区分（美術、技術及び家庭）における、令和5年度卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、大学ごとに定める。

(4) 特別支援学校

各大学（大学院）における推薦人数は、令和5年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験の特別支援学校区分における、令和5年度卒業見込みの者の最終合格者数に応じて、大学ごとに定める。

また、教職大学院を設置する大学は、大学（大学院）からの推薦とは別に、教職大学院から1名を推薦することができる。

被推薦者の有する（取得見込みを含む）特別支援学校教諭一種若しくは専修免許状について、領域は問わない。

なお、推薦条件として特別支援学校教諭一種若しくは専修免許状に加え、小学校教諭又は中学校教諭（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭又は英語のいずれかに限る。）の普通免許状を有する（取得見込みを含む）ことを必要とするが、小学校教諭又は中学校教諭の免許状について専修、一種、二種の別は問わない。

6 翌年度以降の推薦の人数

被推薦者に欠席者・辞退者が出た場合は、合格者数にかかわらず、翌年度以降の推薦人数を減らす場合がある。

また、被推薦者のうち、採用後の人事考課が著しく低い者がいた場合等にも翌年度以降の推薦人数を減らす場合がある。

7 推薦手続等

(1) 推薦書類の提出

ア 提出書類

各大学において取りまとめの上、受験区分に応じて次の(ア)から(オ)までの書類を郵送で提出する。

提出書類	推薦者又は証明者	受験区分					
		小学校	中学校・高等学校				特別支援学校
			国語、数学、理科 美術、技術、家庭			英語	
(ア) 推薦書	学長（又は学部長）	○	○	○	○	○	○
(イ) 学業成績証明書 ※1、※2	大学等	○	○	○	○	○	○
(ウ) 下記のいずれか ・中学校教諭普通免許状（英語）取得見込証明書 ・高等学校教諭普通免許状（英語）取得見込証明書 ・教育職員免許状授与証明書（英語に関するもの）	大学等	○ ※3	—	—	—	—	—
(エ) 英語に係る資格・級・スコアを証明する書類 （推薦者が原本を確認した場合は、写し可）	各試験の実施機関等	○ ※3	—	—	—	○	—
(オ) 大学推薦結果送付書	—	○	○	○	○	○	○

※1 発行日が令和6年4月1日以降のもので、推薦書に記載の「学業成績に関する基準」を確認できるものとする。（累計GPAについては満点又は算出根拠を確認できるものとする）

※2 被推薦者が令和6年4月1日時点で大学院又は教職大学院に在籍している場合は、大学時の学業成績証明書（累計GPA又は「優(80～100点)」相当以上の取得単位数が記載されたもの）についても提出を必要とする。ただし、大学時の学業成績は「4 推薦条件(5)」で定める基準には含めない。

※3 小学校区分における英語に係る免許状、資格・級・スコアによる追加推薦者は(ウ)、(エ)のうち、いずれかの提出を要する。

イ 提出期間

令和6年4月10日（水）～5月8日（水） ※令和6年5月8日（水）消印有効（持込不可）

ウ 提出方法

各大学において取りまとめの上、簡易書留により提出する。郵送に際しては、封筒（角形2号）の表面に「特別選考③提出書類在中」と朱書きし、封筒の裏面に担当部署、担当者名及び連絡先を明記する。

(2) 受験申込

ア 申込方法

被推薦者が、インターネットにより申込みを行う。

イ 申込期間

令和6年4月10日（水）～5月13日（月）午後5時まで

(3) 注意事項

その他の受験区分、選考区分と重複して申し込むことはできない。

8 選考方法及び結果の通知

(1) 提出書類の内容を総合的に審査、選考の結果、相当と認められた者は特別選考③書類選考合格者として、第一次試験の教科専門試験及び一般教養・教職専門試験を免除する。特別選考③の第二次試験の内容は、「令和6年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験受験案内」（令和6年4月8日ホームページ公開予定）を参照すること。

(2) 大学には、6月中旬～下旬に選考の結果を通知する。

(3) 被推薦者には、次のとおり選考の結果を通知する。

ア 合格した者には、受験票に合格した旨を記載して、通知する。

イ 合格しなかった者には、受験票に一般選考で第一次試験を受験することができる旨を記載して、通知する。

(4) 特別選考③書類選考合格者の第二次試験における合否結果は、第二次試験の選考結果発表日以降に、大学及び被推薦者へ通知する。

9 提出先及び問合せ先

横浜市教育委員会事務局 教職員人事課 任用係 採用担当

所在地：〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話：045-671-3246 FAX：045-681-1413

横浜市教育委員会教育長

大 学
長 印

特別選考③(大学推薦特別選考) 推 薦 書

令和6年度実施横浜市公立学校教員採用候補者選考試験における特別選考③(大学推薦特別選考)について、次の者が横浜市公立学校教員を第一志望とし、かつ、教師として優れた実践力を発揮することが期待できる者であるため、推薦します。

ふりがな		生年月日	昭和 平成	年	月	日
氏名						
学部 学科		卒業・修了 年月日	令和	年	月	日

受験区分・教科 ※あてはまるものに○をつけてください	小学校 ・ 国語 ・ 数学 ・ 理科 ・ 美術 技術 ・ 家庭 ・ 英語 ・ 特別支援学校					
学業成績に関する基準 ※推薦要領「4推薦条件(5)」を満たす アかイのいずれかについて 詳細を記入してください	ア 累計GPA	累計GPA		満点		
	イ 「優(80~100点)」相当 以上の取得単位数	「優」相当以上		総取得単位数		
取得(見込)免許状 ※特別支援学校区分受験者は、小学校教諭又は中学校教諭の 取得(見込)免許状もあわせて記入してください						
英語に関する資格等 ※推薦要領に定められている場合のみ記入してください						
推薦数を超える推薦者 ※該当する場合のみ○をつけてください	英語資格等推薦者(小学校区分のみ) ・ 教職大学院推薦者					

【被推薦者に関する評価】

人物に関する事項 (あてはまるものに○をつけてください)		所 見 (被推薦者の人物像が分かるよう、具体的な評価根拠を記入してください)				
教育に対する 情熱と使命感	優← →劣 5 4 3 2 1					
教師としての 資質	優← →劣 5 4 3 2 1					
豊かな人間性 及び社会性	優← →劣 5 4 3 2 1					

【その他】部活動・社会貢献活動(ボランティア等)など、被推薦者について参考となる事項等

--

記載責任者 職名:

氏名:

連絡先TEL: